

各 位

2022年2月16日
株式会社天夢人

日本刀の歴史を軸に、日本の歴史を一気に振り返る。新たな視点で日本史を学ぶ『日本刀が見た日本史 深くておもしろい刀の歴史』を発売。

インプレスグループで鉄道・旅・歴史メディア事業を展開する株式会社天夢人（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝峰富雄）は、2022年2月17日に、『日本刀が見た日本史 深くておもしろい刀の歴史』を刊行いたします。



日本刀は、湾刀誕生から約1千年、神代鍛冶（じんだいかじ）の時代から数えれば千数百年以上の長い歴史がある。あまたの武将たちが、刀工が魂を込めて鍛えた刀を手にとり、さまざまな歴史を動かす力となってきました。また時に優れた日本刀は多くの武人たちの憧れの対象となり、宝物として天皇や将軍たちの手に渡り、時の権力者の象徴としての役割も果たしてきたのです。

本書では、こうした日本刀の歴史から日本史を通観することで、今までにない新たな視点をもたらしてくれる歴史読本です。本文では計40項目におよぶテーマを設定し、それぞれ2～4ページの読み切りの文章で構成。神話時代から昭和までの歴史を動かした事件や人物

たちと日本刀の関わりを紹介していきます。日本刀そのものにも興味をもっている人にも、日本史を学びたい人にもおすすめしたい一冊です。

大坂長銘正宗

「一巻」
「二巻」
「三巻」
「四巻」
「五巻」
「六巻」
「七巻」
「八巻」
「九巻」
「十巻」

大坂長銘正宗の御影

義元左文字

信長が奪った義元の愛刀
桶狭間の合戦は、織田信長が、駿河・遠江・三河の三方国を支配していた有力大名・今川義元を、尾張国織田信長二藩の丘陵地帯で撃破し勝利した戦い。

桶狭間の合戦

義元は太刀、三好左文字を手にも携えに戦ったが、奪取され、織田軍に首を取られた。義元左文字も手に入れた信長は、戦後の記録に記された。以後、この刀は義元左文字と呼ばれるようになった。

天下統一

史上最大の刀剣コレクター
天下統一を遂げた豊臣秀吉は、刀剣の蒐集も楽しみもせず、「天下の名刀はすべて我が手にある」と豪語したほどの名刀コレクターを形成した。

豊臣秀吉

蒐集された刀剣の記録は、刀剣の鑑定・研磨・神託を業とした本阿弥の九代目当主・光徳の密に記録した「本阿弥物刀図」(「豊臣家御影」や「豊臣家御影」)「上巻」などによって残され、今日にまで残っている。

名物 義元左文字 豊臣秀吉蔵
名物 義元左文字、豊臣秀吉蔵。信長が桶狭間の合戦で奪取した太刀、義元左文字。信長が手に入れた信長は、戦後の記録に記された。以後、この刀は義元左文字と呼ばれるようになった。

太刀 長光 (名物 大般若長光)

鎌倉時代中期より繁栄した備前長門系を代表する長光の傑作とされる名刀。室町時代、六百貫という値が付いたことから、般若経「六百巻」と誤ってこの名が付いた。国宝。

大般若長光

足利義輝蔵
織田信長蔵
徳川家康蔵
奥平信昌蔵

歴代将軍が手にした名刀

日本刀の歴史に名を残す刀には、合戦を経て受け継がれてきた伝説の刀がいくつも存在する。その代表ともいえるのが、「大般若長光(太刀 長光)」と号された太刀で、今日では国宝に指定されている。

高平信昌

この太刀は、もともと足利義輝蔵、足利義輝の所持する刀で「小虎之太刀」とも呼ばれていた。義輝が三好三人衆に襲われ敗死した際、この刀も奪われ、三好三人衆の一人で刀の大家だった三好政長の手に残る。三好一族はその後、信長の援助を得て京都に帰還した織田家軍に、信長の手に残る。大般若長光はさらに信長は、桶狭間の合戦で、この刀を贈った。織田家軍に、いわれた織田信長が、織田信長と連合軍に大敗した長光の合戦「本能寺」では、奥平信昌が長光を守護し、信昌が長光に守り抜くが、この働きに守り、家康は、大般若長光を身元としている。

織田信長

信長が奪った義元の愛刀
桶狭間の合戦は、織田信長が、駿河・遠江・三河の三方国を支配していた有力大名・今川義元を、尾張国織田信長二藩の丘陵地帯で撃破し勝利した戦い。

徳川家康

徳川家康蔵
奥平信昌蔵

【第2章 戦国時代～江戸時代】

日光一文字×下剋上の到来／謙信景光×川中島の合戦／義元左文字×桶狭間の合戦／童子切安綱×永禄の変／籠手切正宗×姉川の合戦／三日月宗近×中国攻め／大般若長光×長篠の合戦／実休光忠×本能寺の変／信房×小牧・長久手の合戦／太閤左文字×天下統一／燭台切光忠×小田原征伐／同田貫×朝鮮の役／石田正宗×関ヶ原の合戦／大左文字×大坂の役／大名打×伊達騒動／名刀焼失×明暦の大火／備前刀×元禄赤穂事件／享保名物帳×享保の改革／村正×田沼意知襲撃事件／井伊家の名刀×桜田門外の変／長曾根虎徹×池田屋事件／陸奥守吉行×近江屋事件

【第3章 明治時代～近代】

和泉守兼定×箱館戦争／廃刀令×明治維新／信国×西南戦争／一文字吉房×日露戦争／風雷神虎徹×五・一五事件／赤羽刀×太平洋戦争終結／関孫六×三島事件

【書誌情報】

書名：日本刀が見た日本史 深くておもしろい刀の歴史

仕様：A5判 168 ページ

定価：1980 円（本体 1800+税 10%）

発売日：2022 年 2 月 17 日

全国書店、オンライン書店の Amazon などでも発売中。

<https://amzn.to/3rMCKKv>

【株式会社天夢人】 <https://temjin-g.com/>

2007 年設立。隔月刊雑誌『旅と鉄道(奇数月 21 日発売)』をはじめとする、鉄道・旅・歴史・民俗・カルチャーをテーマとした雑誌や書籍を発行し、人生を豊かにするための情報を発信しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証 1 部 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社天夢人 担当:武田

Tel: 03-6413-8755 / E-mail: info@temjin-g.co.jp

URL: <https://temjin-g.com/>